

平成23年5月9日

永水地区水利組合代表 園田義昭



4月26日の3者協議、5月6日の3者による現地状況の確認を実施いただきありがとうございました。3者による共通認識を持ちたいとの市長のお考えは達成できたものと思います。

洪水前の調整池の未完成な状態、調整池への導水路破断などを見ていただき、防災施設の不備、調整能力の欠落、維持管理の杜撰さを確認いただいたものと確信しております。県からの多くの指導がなされていることがそれを裏付けております。今年の梅雨時期に昨年の悪夢が再現されるのではと恐れております。

事業者におかれては反論があらうかと思えます。私達はいずれの会合でも画像、表、根拠のある資料、文書で説明いたしました。3月9日の建設水道常任委員会の議事録を読みますと、その真意を計り兼ねる発言が多々ありました。以下を要請いたします。

1. 反論は口頭ではなく文書で実施していただきますよう、事業者に要請願います。
2. 2回目の3者協議時、現地防災担当者の出席を事業者に要請願います。
3. 県が防災施設の未完成に対して多くの指導をしておりますことを踏まえ、防災施設の完成までの工程表を明示することを事業者に要請願います。
4. 副市長様から4月26日の会合の結果を精査する意向も表明いただきました。この精査結果も文書で提示いただきますようお願いいたします。

出来るだけ早い時期に2回目の3者協議が開かれますことを要望いたします。

補足

事業者は「防災施設は完成はしていないものの洪水調整機能はあった」と見解を述べられております。住民は現地共同視察の結果、事業者が3者協議で述べられた調整池の貯水能力（A調整池＝6割、B調整池＝8割、D調整池＝9割）は否定されたという認識を持っております。このことについては土木工学からの見解、実証、物証を含めて反論いただくことをお願いいたします。

- ・ A調整池：土砂堆積により貯水可能高さは前面擁壁辺りで2m、貯水面積は大目に見て3,000㎡で貯水量は6,000㎡と試算しました。設計容量の9%にも足りません。
- ・ B調整池：前面擁壁の未完成部分まで土砂堆積があったことから貯水量はゼロとの見解です。
- ・ D調整池：事業者提供の7月5日の画像に梯子と排水用のパイプが撮影されています。オリフィスへの流入箇所の上端は金網がなく、解放されています。排水されない状況が常態化していたと推定されます。奥までの土砂堆積状況と満水状況から貯水量はゼロとの見解です。

霧島市行政は「ゴルフ場内の開発地域での大規模な崩壊は確認できませんでした」と住民に回答されています。自らの目で確認していない事項について、業者見解を追認する回答を住民に公布されたことを認識されるとともに、3者現地視察に参加された土木関係の職員の見解を加味し、協議結果を精査していただきますように要請いたします。